

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

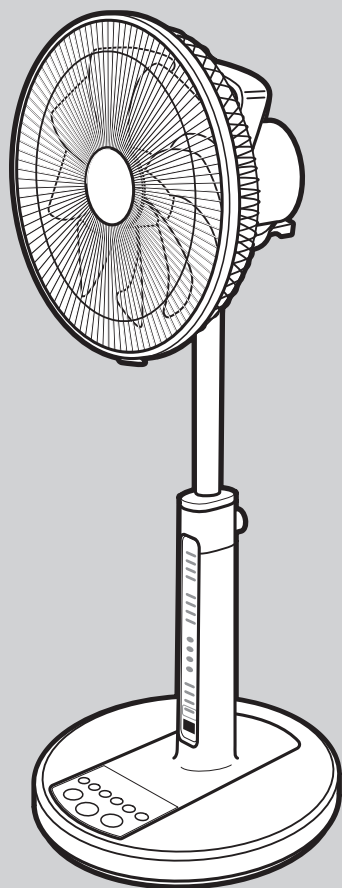
日立扇風機 リビング扇 30cm

エイチイーエフ アール
型式 HEF-130R
エイチイーエフ エム
HEF-130M

リモコン付きタイプ

リモコン無しタイプ

このたびは、日立扇風機をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。





目次

| | |
|-------------------------------|-----|
| ■安全上のご注意 | 2 |
| ■使用上のご注意 | 3 |
| ■各部のなまえとはたらき | 4 |
| ■組み立てかた | 6 |
| ■使いかた | 8 |
| ■お手入れと保管のしかた | 10 |
| ■収納のしかた | 11 |
| ■故障かな?と思ったら | 12 |
| ■仕様 | 13 |
| ■保証とアフターサービス | 13 |
| ■長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について | 14 |
| ■ご相談窓口 | 15 |
| ■保証書 | 裏表紙 |

- この扇風機は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。










| | |
|--|---|
|  警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。






〈絵表示の例〉

| | | |
|--|---|--|
|  禁止 |  指示を守る |  分解禁止 |
|  電源プラグを抜く |  水ぬれ禁止 |  接触禁止 |

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

|  警告 | |
|--|--|
|  分解禁止 | 改造は行わない。また、修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理を行わない 火災・感電・けがの原因になります。 |
|  電源プラグを抜く | お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。ぬれた手で抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。 |
|  水ぬれ禁止 | 水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・発火のおそれがあります。 |
|  禁止 | 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない モーター部が飛び出して、けがの原因になります。 |
| | 羽根、ガードを付けずに運転しない モーターが回転し、けがの原因になります。 |
| | ベースを付けずに運転しない 転倒し、けがの原因になります。 |
|  禁止 | 組み立てや取り外しの際は、電源プラグを差し込まない 感電やけがの原因になります。 |
|  指示を守る | 電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない 電源コードを引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、ステップルや釘などで固定しない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p> <p>単相交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</p> <p>スライドパイプを縮めたままお手入れをしない 誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをすることがあります。</p> <p>電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。</p> <p>電池は誤った使い方をしない *指定以外の電池を使わない。 *加熱・分解したり火の中に入れたりしない。 *(+)と(-)は逆に入れない。 *ネックレスなどの金属物といっしょにしない。 液もれ・発熱・発火・破裂などの原因となります。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p> 禁止</p> <p>電池の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す 万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。 失明の原因になります。</p> <p> 指示を守る</p> <p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く 火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p> </div> </div> | |

⚠️ 注意

| | | | |
|---|--|---|--|
|  接触禁止 | ガードの中や可動部へ指などを入れない けがをするおそれがあります。 |  禁止 | 次の場所では使わない *ガスレンジなどの近く *引火性のあるところ *雨や水しぶきのかかるところ 炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。 |
| | 運転中は扇風機の向き(上下左右方向)や 位置を変えない けがをするおそれや故障などの原因になります。 | | 風を長時間、からだにあてない 健康を害することがあります。 |
| | 入タイマー設定中は、羽根・ガードに触れない 羽根が回り始め、けがの原因になります。 | | 障害物のそばや、不安定な場所では使わない 転倒によりけがをするおそれがあります。 |
|  指示を守る | 本体に異常な振動が発生した場合は、使用 を中止する 羽根やガードが外れ、けがをするおそれがあります。 |  指示を守る | 油ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所 や強い紫外線の当たる場所では使わない 破損、変形、故障などの原因になります。 |
|  電源プラグを抜く | 使用時以外は、必ず電源プラグをコンセント から抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災 の原因になります。 | | 髪をガードに近づけすぎない 髪が巻き込まれけがをするおそれがあります。 |
| | | | 電池を廃棄、保存する場合は(+)(-)端子部 をテープなどで絶縁する 電池の発熱・破裂・発火の原因になります。 |

使用上のご注意

| | | |
|--|---|--|
| 殺虫剤をかけたりしない 変色、破損などの原因になります。 | 横を向いている扇風機を無理に正面に向けない 破損、故障などのおそれがあります。 | |
| 高温、高湿、水のかかる場所、 火気の近くでは使わない 変色、変形、感電、故障などの原因に なります。 | 羽根にはり付けてある 羽根注意ラベルをはがさない 羽根注意ラベルは、法による表示ですの ではがさないでください。 | 製品を引きずらない 畳、床面などに傷をつけるおそれ があります。 |
| 長時間使わない時は、電池を 取り出す 液もれによる故障の原因になります。 | リモコン受信部をかくさない(リモコン付きタイプ) 障害物があると、リモコンによる操作が できなくなります。 | リモコンの取り扱いを大切に(リモコン付きタイプ) 踏んだり、落としたり、水をかけたりしないで ください。破損、故障の原因になります。 |
| フローリング床のワックス掛けした後は、ワックスが充分乾いてから本体を置く 跡が付いたり、ワックスが剥がれることがあります。 | 長時間直射日光に当てない 変色などの原因になります。 | |

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、マイコンなどの消費電力により操作部の一部が暖かくなります。長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。(運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約0.5Wの電力を消費します)
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。始めから操作をやり直してください。

愛情点検



長年ご使用の扇風機の点検を!

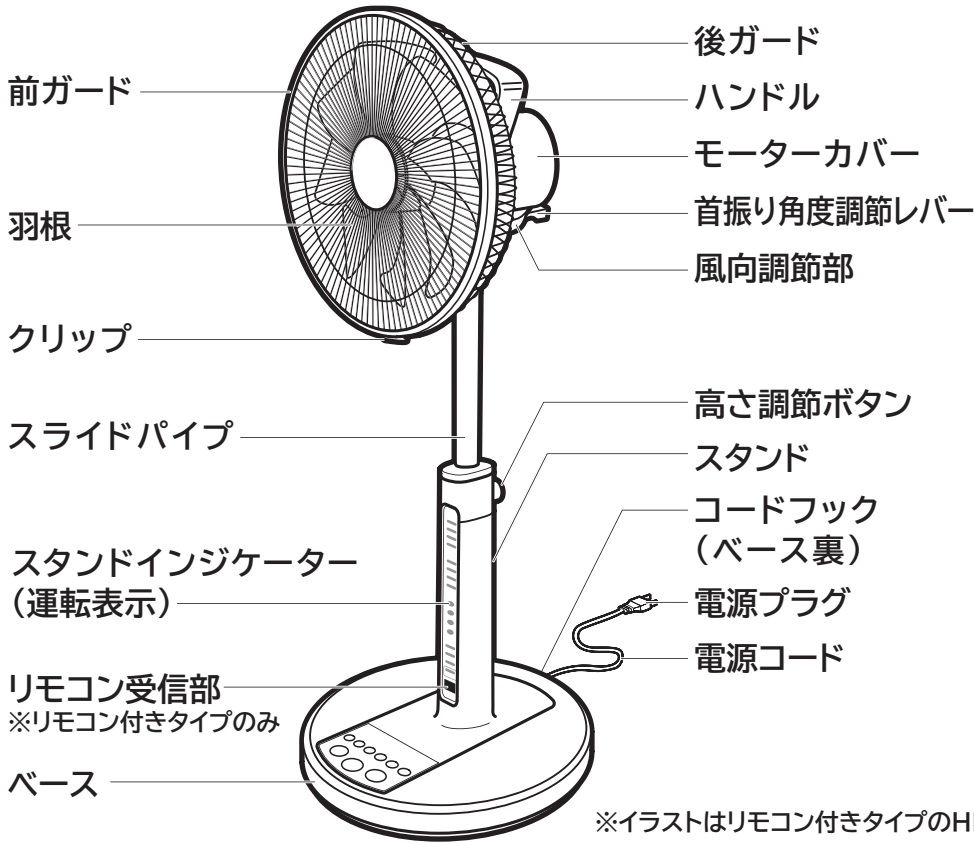
ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか?

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなったりと不安定。

ご使用
中 止

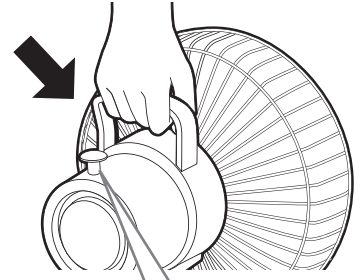
このような症状のときは、
故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検・修理を
ご相談ください。

各部のなまえとはたらき



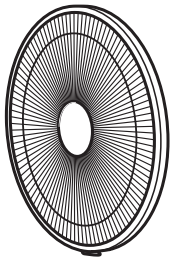
ハンドルの持ちかた

- 本体後方からハンドルを持ってください。

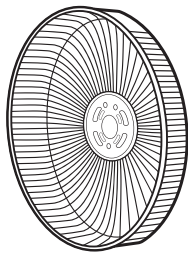


首振りつまみにあたらないようにご注意ください。
※リモコン無しタイプのみ

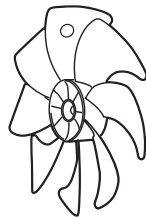
同梱品



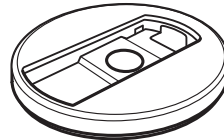
前ガード



後ガード



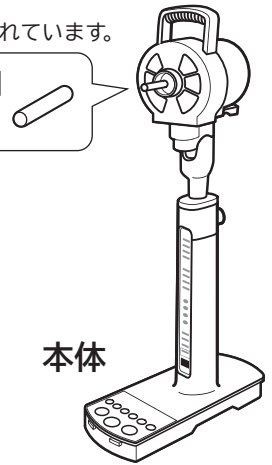
羽根



ベース

本体に取り付けられています。

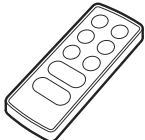
モーター軸
カバー



本体

下図は緩衝材の中に収納されています。

※リモコン付きタイプのみ



リモコン



二酸化マンガン
リチウム電池CR2025

(リモコン動作確認用)リモコンに入っています。



リモコンホルダー



羽根
キャップ



ガード
固定リング



ベース
固定リング

⚠ 警告



禁止

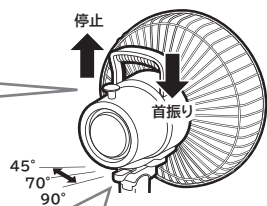
電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない
電源コードを引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

首振り角度調節レバー／首振りつまみ

首振りつまみ

- 押し込むと首振りします。
- 引き上げると首振りが停止します。

※リモコン無しタイプのみ



首振り角度調節レバー

- 首振り角度調節レバーで首振り角度を45°、70°、90°の3段階に調節できます。
- 首振り角度調節方法
風向調節部を手で押さえて、レバーで角度を調節します。

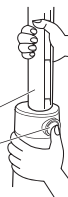


風向調節部

高さ調節ボタン

- 高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながらスライドパイプを上げ、高さを調節します。高さを固定できるのは、7段階です。本体を移動する際には、必ず固定位置を確認の上移動してください。低くする場合はハンドルを持って低くしてください。

スライドパイプ
高さ調節ボタン



ご注意

- 高さ調節時は、指などははさまないようにご注意ください。

風向を調節するとき

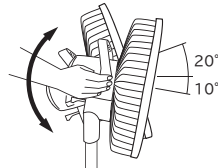
左右に調節



お願い

- 調節角度以上に無理に動かさないでください。故障の原因になります。

上下に調節



警告



禁止

スライドパイプを縮めたままお手入れをしない誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをするおそれがあります。

注意



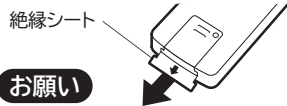
接触禁止

運転中は扇風機の向き(上下左右方向)や位置を変えない
けがをするおそれや故障などの原因になります。

リモコン ※リモコン付きタイプのみ

ご使用の前に

リモコン裏の絶縁シートを引き抜いてください。



お願い

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは、取り出しておいてください。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、(+)(-)を正しく入れてください。
- 充電・ショート・分解・火への投入・加熱はしないでください。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

リモコンの収納

リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

リモコンホルダーの取り付けかた

リモコンホルダーは図のようにスタンドにはめ込みお使いください。



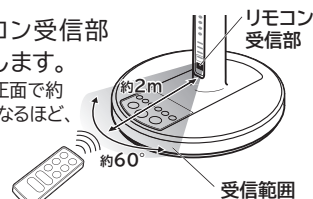
ご注意

- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーを取り付けしないでください。リモコンの落下によりけがや破損、故障の原因になります。

使用範囲

リモコン送信部をスタンドのリモコン受信部正面に向けて、お望みのボタンを押します。

※リモコンで操作できる距離はリモコン受信部正面で約2m以内です。リモコン受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。(距離:約2m、水平方向左右:約60°)



ご注意

- 指定されたリモコン以外は使用しないでください。
- インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具などを使用している部屋や受信部に直接日光が当たる場所では、表示ランプがちらついたり、リモコンで動作しない場合があります。
- 扇風機にさわっているときなどは、リモコンを操作しないでください。

お願い

- 動作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 送信部とリモコン受信部の間に障害物がないようにしてください。

電池の交換のしかた

① ドライバー(サイズ:#1)などの先の細いプラスドライバーでネジを外してリモコンの裏ふたを矢印の方向に押し下げながら裏ふたを外します。

② 古い電池を取り外します。

③ 新しい電池を正しく入れ、裏ふたをしめます。(⊕極を上にして正しく入れる)



警告



禁止

電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。

電池は誤った使い方をしない

*指定以外の電池を使わない。*加熱・分解したり火の中に入れてたりしない。*(+)と(-)は逆に入れない。
*ネックレスなどの金属物といっしょにしない。液もれ・発熱・発火・破裂などの原因となります。



指示を守る



電池の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す

万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。失明の原因になります。


組み立てかた

— 包装箱は保管のときに必要ですので、捨てないでください。 —

警告

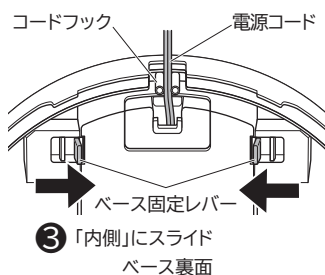
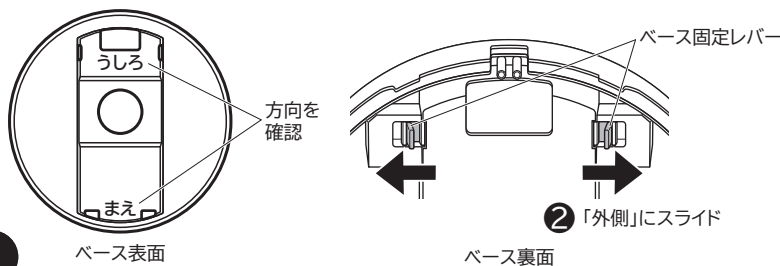
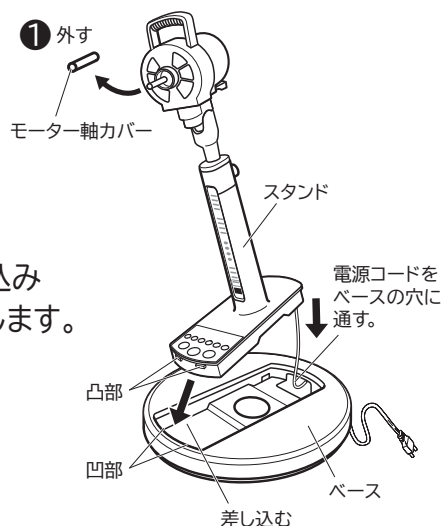
| | | | |
|--|--|---|---|
|  禁止 | 組み立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない 感電やけがをすることがあります。 |  禁止 | 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない モーター部が飛び出して、けがの原因になります。 |
| | 羽根、ガードを付けずに運転しない モーターが回転し、けがの原因になります。 | | 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、ステッplerや釘などで固定しない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 |
| | ベースを付けずに運転しない 転倒し、けがの原因になります。 | | |

注意

| | |
|---|--|
|  指示を守る | ガード固定リングは確実に締めつけてください 後ガードとモーターカバーの間に隙間があると、けがの原因になります。 |
|---|--|

1 ベースにスタンドを取り付けます。

- ① モーター軸カバーを外します。
- ② ベース固定レバーが2ヶ所「外側」にスライドされているか確認し、ベース・スタンドそれぞれの「まえ」「うしろ」表示で方向を確認し、電源コードをベースの穴に通し、ベースの凹部とスタンドの凸部を差し込み、ベースにスタンドをはめ込みます。
- ③ ベースとスタンドの段差が無くなるようにスタンド「うしろ」側を押し込み、ベース固定レバーを2ヶ所「内側」にスライドさせスタンドとベースを固定します。

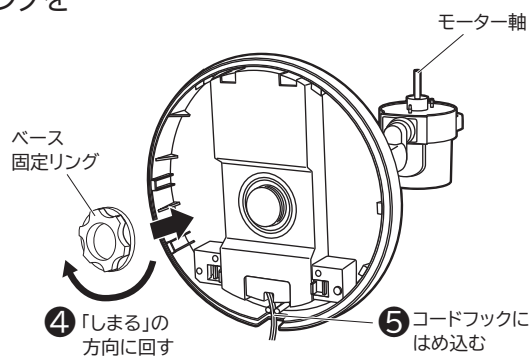


ご注意

- スタンドをベースに無理に差し込むと、破損の原因になります。
- ベース・スタンドの方向を間違えると、破損の原因になります。
- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーを取り付けしないでください。
リモコンの落下によりけがや破損、故障の原因になります。(リモコン付きタイプ)
- ④ スタンドとベースが離れないように手で押さえながら、ベース固定リングを「しめる」の方向に回して、しっかりと締めつけてください。
- ⑤ 電源コードをコードフックに確実ににはめ込みます。

ご注意

- 組み立て中に高さ調節ボタンには触れないでください。
けがや破損、故障の原因になります。
- ベース固定リングを確実に取り付けしていないと、スタンドが外れ転倒や落下などによるけがや破損、故障の原因になります。

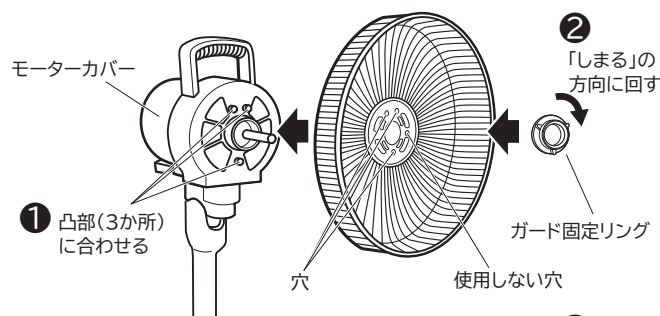


お知らせ

● ベースにスタンドを取り付けた時に、多少段差が生じる場合がありますが異常ではありません。

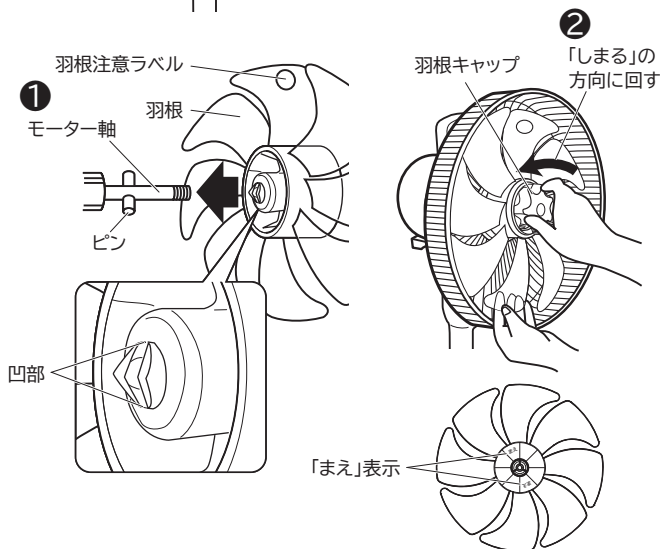
2 後ガードを取り付けます。

- ① モーター前面の凸部(3か所)を後ガードの穴(3か所)に合わせて差し込みます。
※使用しない穴が1ヶ所あります。
- ② ガード固定リングを「しまる」の方向に回して確実に締めつけます。
※後ガードとモーターカバーの間に隙間があると、けがをするおそれがあります。



3 羽根を取り付けます。

- ① 羽根の「まえ」表示で方向を確認し、モーター軸のピンと羽根の凹部が合うように、羽根をモーター軸に差し込みます。
- ② 羽根を押さえながら、羽根キャップを「しまる」の方向に回して、確実に締めつけます。

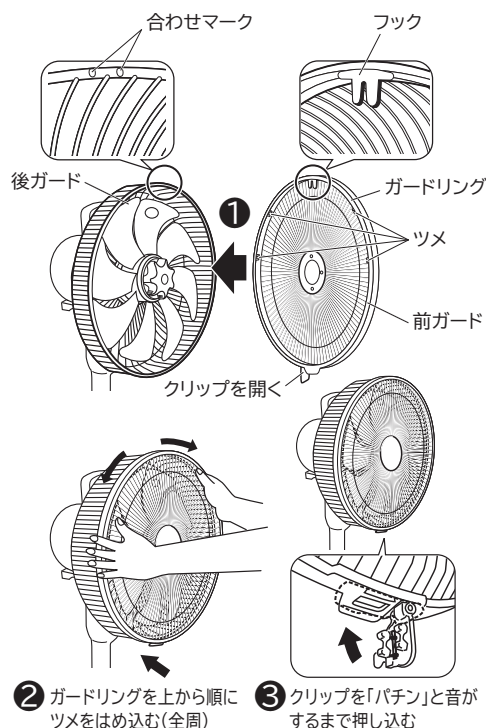


ご注意

- 羽根キャップが確実に締めつけられていないと、羽根ブレが生じます。また、羽根が外れてけがをするおそれがあります。
- 組立、分解時にモーター軸やピンなどでけがをしないよう、取り扱いにはご注意ください。
- 羽根を反対に取り付けると羽根キャップは取り付けできません。
- 羽根注意ラベルは、法による表示ですのではがさないでください。簡単にはがせないように接着しています。

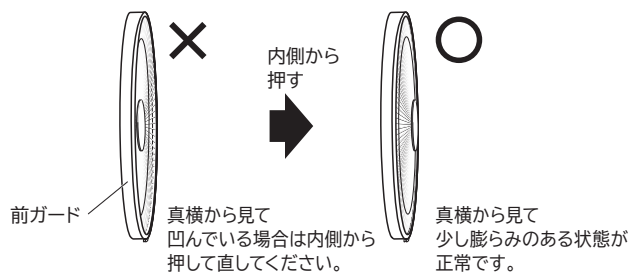
4 前ガードを取り付けます。

- ① 前ガードについているガードリングのフックを後ガードの合わせマークに合わせて取り付けます。
- ② 後ガードを押さえ、前ガードを押してガードリングを後ガードに上から順にツメを全周はめ込みます。
- ③ クリップは後ガードをはさみ込むように「パチン」と音がするまで確実に押し込みます。
※クリップが押し込みにくい場合はクリップを開きながら押し込んでください。その際「パチン」と音はしません。



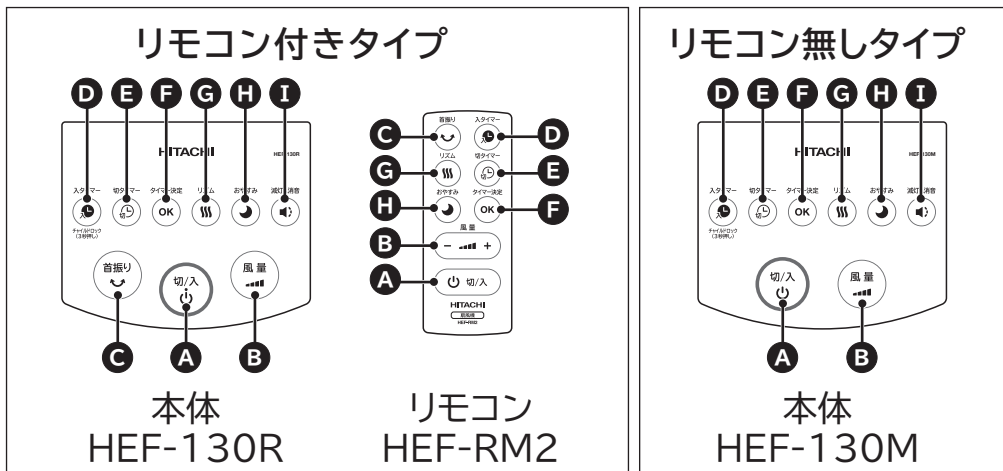
ご注意

- 前ガードが確実ににはめ込まれていないと、前ガードが外れ、けがをするおそれがあります。
- 前ガードが凹んだ状態で取り付けないでください。前ガードの凹みを直してから取り付けてください。破損の原因になります。

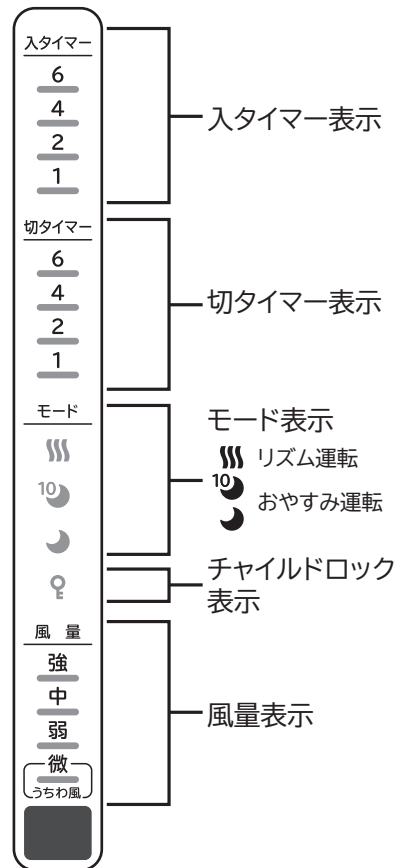


使いかた

操作部名称



スタンドインジケータ (運転表示部)



| | |
|-------------------|--|
| A 切/入 | 運転停止、運転開始を行います。 |
| B 風量 | 微・弱・中・強の4段階で風量を選択できます。 |
| C 首振り | 首振りの開始、停止を行います。※リモコン付きタイプのみ |
| D 入タイマー | 入タイマー時間を選択できます。(1・2・4・6時間) |
| D チャイルドロック | チャイルドロックを設定します。※3秒長押し時 ※リモコンではチャイルドロックは設定できません。 |
| E 切タイマー | 切タイマー時間を選択できます。(1・2・4・6時間) |
| F タイマー決定 | タイマー時間を決定します。 |
| G リズム | リズム運転を設定します。 |
| H おやすみ | おやすみ運転を選択できます。(2・10時間) |
| I 減灯&消音 | 減灯と操作音の消音を設定します。※リモコンでは減灯&消音は設定できません。 |

※リモコン無しタイプには首振りボタン機能はありません。

■ 運転の開始 **A**

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

切/入 を押し、電源を入れます。

※前回ご使用時の風量とモードで運転開始します。(おやすみ運転は除く)

(「微」で運転開始する場合、運転開始の数秒間はモーターの回転を安定させるため、「中」で開始します)

※電源プラグを抜かれた場合は風量「中」で運転開始します。

■ 風量 **B** の設定



風量 を押し、お好みの風量に設定します。

※ボタンを押すごとに風量が切り替わります。
※リモコンでは風量の+ボタンで切り替えできます。

■ リズム運転 **G** の設定

リズム を押し、設定します。再度押しと解除できます。

■ おやすみ運転 **H** の設定



おやすみ を押し、設定します。押すごとに2・10時間・解除に切り替わります。

※「切タイマー」を設定している場合、「おやすみ運転」は設定できません。一度「切タイマー」を解除してください。

減灯&消音 ① の設定 ※リモコンでは減灯&消音は設定できません。

🔊 を押し、設定します。再度押すとピッと音がして解除できます。

※設定後、運転表示ランプが暗くなり、操作音が消えます。解除すると元に戻ります。(設定時は音は鳴りません)
※運転表示ランプは明るさを制御しているので、ちらつく場合がありますが故障ではありません。

切・入タイマー ④⑤⑥ の設定 お好みの時間に合わせ、運転を停止、開始できます。「切」「入」タイマーは同時に設定できます。

切タイマーのみの設定

① 🕒 を押し、切時間を選択します。

② OK を押し、切時間を決定します。

※ランプが点滅から点灯に変わります。
※設定時間になると、運転を停止します。



入タイマーのみの設定

① 🕒 を押し、入時間を選択します。

② OK を押し、入時間を決定します。

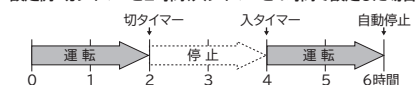
※ランプが点滅から点灯に変わり自動的に運転が止まります。
※設定時間になると、運転を開始します。
※入タイマーで運転を開始した場合の風量は、微(うちわ風)で開始し、約2時間後に自動で停止します。

切・入タイマー同時設定

切タイマーを設定します。
※入タイマーを先に設定することはできません。

入タイマーを設定します。
※切タイマー設定時間より遅い時間でしか設定できません。
設定できない時間は点滅しません。

設定例:切タイマーを2時間、入タイマーを4時間で設定した場合



※ 🕒 🕒 ボタンを押すごとに時間が切り替わります。※設定時間は、切、入タイマーとともに現時間をスタートとしています。※タイマー設定時間は、目安時間です。

- ご注意**
- 時間設定は1分以内に行ってください。設定がクリアされます。
 - 各時間設定後は、時間変更できません。設定後の解除・変更の場合は、一度運転を停止してください。
 - 入タイマーボタンは🕒を押して、離れた時に反応します。約3秒間押し続けるとチャイルドロックが設定されます。

⚠️ 注意



接触禁止

入タイマー設定中は、羽根・ガードに触れない
羽根が回り始め、けがの原因になります。

首振り ③ の設定 ※首振り運転時に本体内部からモーター音等がしたり、首振り動作が一定ではない場合がありますが異常ではありません。

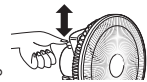
リモコン付きタイプ

🌀 を押すごとに「首振り開始」「首振り停止」に切り替わります。

リモコン無しタイプ

本体首振りつまみで切り替えます。

押し込む 首振りを行います。引き上げる 首振りを停止します。



チャイルドロック ⑦ の設定

🔒 を約3秒間押し、ピッと音がして「チャイルドロック」を設定します。解除するときは、再度🔒を約3秒間押ししてください。ピッと音がして解除します。チャイルドロックを設定



ランプが点灯します

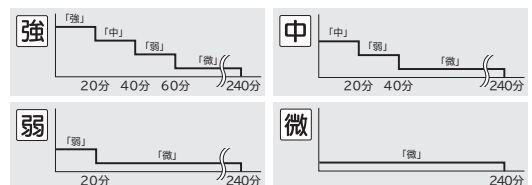
すると、「切」以外のすべての操作ができません。※次回運転を開始する時は、チャイルドロックを解除してください。
※リモコンでは、チャイルドロックは設定できません。 ※安全上、「切」ボタンのみ操作できるようになっています。

モードの説明

リズム ・微・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量が強・中・弱・微と切でリズムカルに変化します。 ※運転時は羽根が止まる場合があります。 ※おやすみ運転と同時設定はできません。

- おやすみ**
- 設定すると風量「弱」で運転開始します。
 - お好みに合わせて風量が切り替えられます。設定された風量から約20分ごとに自動的に風量を下げます。(右図参照)
 - ⑩ 設定後約10時間で運転停止します。切タイマー時間の切り替えはできません。
 - 設定後約2時間で運転停止します。切タイマー時間の切り替えができます。入タイマー設定はできません。
 - 切タイマーはおやすみ運転設定後に切り替えてください。先に切タイマーを設定するとおやすみ運転の設定はできません。
 - 切タイマーを設定後、時間を変更する場合は一度運転を停止して再設定してください。(切タイマーの設定方法はP9を参照してください) ※リズム運転と同時設定はできません。



風量設定ごとの風量の下がり方(設定例:切タイマー4時間設定の場合)



- ご注意**
- 運転停止時に「風量」「リズム」「タイマー」等のスイッチボタンを押しても作動しません。
 - 運転中の停電や電源プラグが抜けた場合はすべて最初からの操作になります。
 - 万一、操作不能になってしまった場合、いったん電源プラグをコンセントから引き抜き、再び差し込んでから操作してください。
- お願い**
- 風向を調節するとき、調節角度以上に無理に動かさないでください。故障の原因になります。(P5参照)
 - ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

お手入れと保管のしかた

⚠ 警告

| | |
|--|---|
|  電源プラグ を抜く | お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る ぬれた手で抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。 |
|  禁止 | 羽根、ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない モーター部が飛び出して、けがの原因になります。 |
| | 羽根、ガードを付けずに運転しない モーターが回転し、けがの原因になります。 |
| | スライドパイプを縮めたままお手入れをしない 誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをするおそれがあります。 |
| | ベースとスタンドなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがをすることがあります。 |

お手入れのしかた

ガード、羽根は組み立てと逆の順序で取り外し、汚れは水またはうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。「組み立てかた」はP6を参照してください

ご注意

- 運転直後はモーター軸が高温になっていますので、しばらくたってから行ってください。
- 中性洗剤をご使用の場合、汚れを落とすあと、洗剤が残らないように十分洗剤をふき取ってください。洗剤が残っていると、プラスチックの破損によりけがをするおそれがあります。
- 前ガードは水洗いやつけおき洗いをしないでください。ガード中心部に水が浸入するおそれがあります。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。モーター軸に錆が発生し、羽根が外せなくなるおそれがあります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使わないでください。プラスチックや塗装面が変色したり、破損によりけがをするおそれがあります。
- 化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部分に油をつけないでください。変色したり、破損によりけがをするおそれがあります。

保管のしかた

組み立てと逆の順序で分解し、モーター軸は、よく汚れをふき取ってからうすくミシン油などを塗り、モーター軸カバーを取り付けます。お買い求めになったときの包装箱に収納し、湿気の少ないところに保管してください。また、電源コードは緩衝材と製品に挟まれないように、ビニール袋を被せて収納してください。「収納のしかた」はP11および包装箱の表示を参照してください。

ご注意

- 扇風機が横を向いているときは、無理に戻さず、首振り運転をさせて正面に向けてください。無理に戻すと故障の原因になります。
- 羽根、ガードなどの汚れは「お手入れのしかた」を参照してお手入れを行ったあと保管してください。

収納のしかた

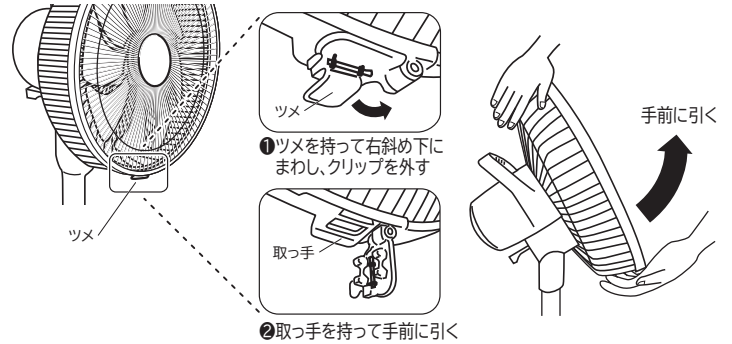
収納の手順

1 分解します。

- リモコン付きタイプはリモコンから電池を外してください。
- 組み立てと逆の手順で分解してください。
(「組み立てかた」はP6を参照してください)

前ガードの外しかた

電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからツメを持ってクリップを外し、前ガードを上から押さえてガードリングの取っ手を手前に引きます。

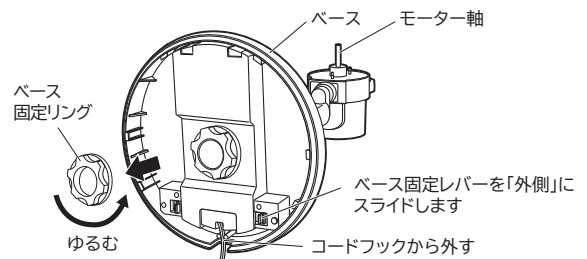


ご注意

- クリップをもって手前に引くと、クリップが外れたり、破損するおそれがあります。

ベースの外しかた

- ① モーター軸を上にしておいてから、電源コードをコードフックから外し、ベース固定リングを「ゆるむ」の方向に回して外します。



- ② ベース固定レバーを2か所「外側」にスライドし、スタンドを支え、ベースを静かに持ち上げ外してください。

ご注意

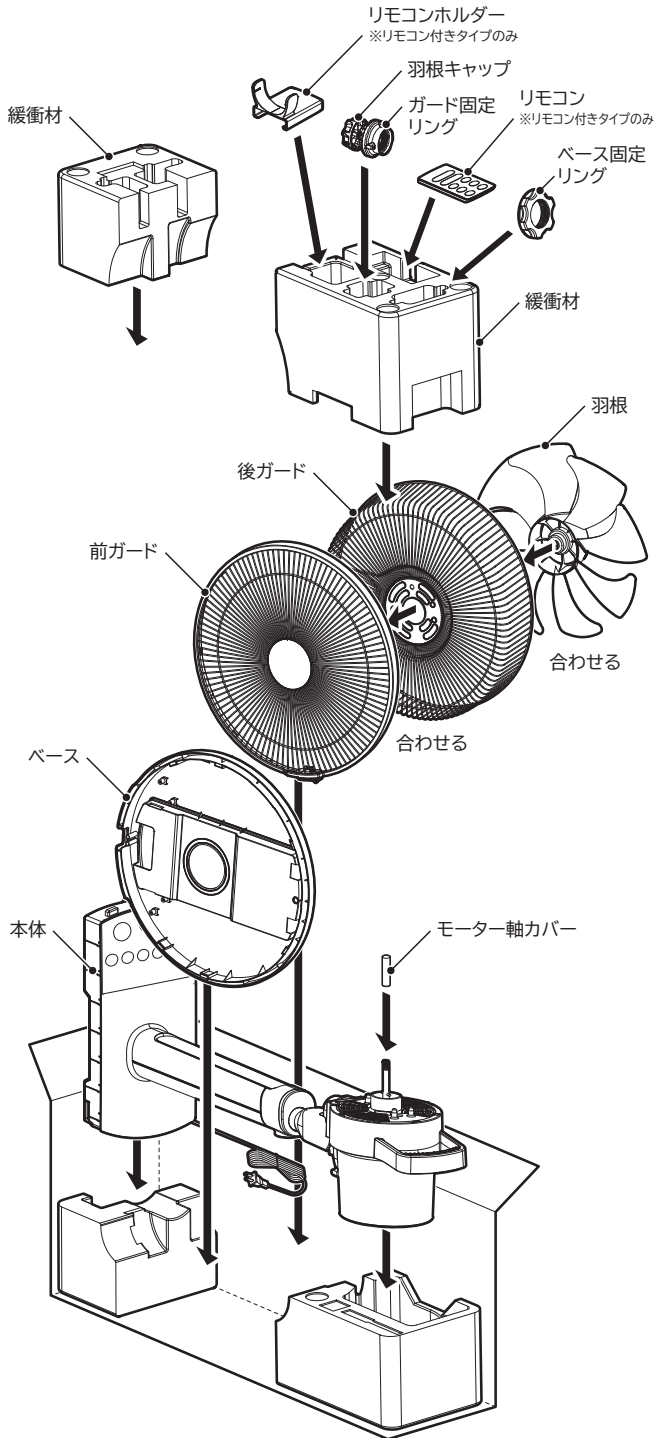
- 無理に取り外すと、破損の原因になります。
- モーター軸を下にしますと不安定になり、故障の原因になったり床面を傷つけるおそれがあります。

2 清掃します。

モーターカバーのほこりや汚れをよく拭き取ってください。

3 収納します。

左記の図を参考に収納してください。



故障かな?と思ったら

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P15)にお問い合わせください。

| 症状 | 点検するところ | 直しかた |
|----------------------------------|--|---|
| 首振り動作が一定ではない | ● 左右への首振り中に動作が一定ではなく一瞬止まったりする場合があります。 | ● 故障ではありません。 |
| 微風や首振り運転中の音が気になる | ● モーターや首振りモーターなどの運転音です。 | ● 故障ではありません。 |
| 微風や弱風時、「カサカサ」等の音がする | ● モーターの運転音で静かな環境では聞こえる場合があります。 | ● 故障ではありません。 |
| リズム運転時や風量が切り替わるときに「コンッ」と音がする | ● 風量が切り替わるときに「コンッ」というモーターの運転音が聞こえる場合があります。 | ● 故障ではありません。 |
| 羽根・ガード・ベースなどに小さいキズがある | ● 全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。 | ● 故障ではありません。 |
| 操作部やその周囲があたたかい | ● 「切/入」ボタンを含む操作ボタンや表示は正常ですか？ | ● 故障ではありません。内部の基板の消費電力が約0.5Wあります。その熱量の影響です。 |
| 羽根が回転しない | ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ● ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか？ ● チャイルドロックを設定しませんでしたか？ | ● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。 ● チャイルドロックを解除してください。(P9参照) |
| ボタン操作を受けつけない | ● チャイルドロックを設定しませんでしたか？ | ● チャイルドロックを解除してください。(P9参照) |
| リモコンで動作しない(ときどき動作しない)(リモコン付きタイプ) | ● 「切/入」ボタンは押しましたか？ ● 電池が消耗していませんか？ ● 電池の入れかた(⊕ ⊖の方向)が間違っていないですか？ ● 入タイマーは入っていませんか？ ● チャイルドロックを設定しませんでしたか？ ● インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具等、または直射日光等強い光が当たる場所で使用していませんか？ | ● 「切/入」ボタンを押してください。 ● 電池を交換してください。 ● 電池を正しく入れ直してください。 ● もう一度「切/入」ボタンを押してください。 ● チャイルドロックを解除してください。(P9参照) ● 向きや位置を変えて下さい。 |
| 運転中の音が異常に大きい | ● 羽根はしっかりと取り付けられていますか？ ● ガードはしっかりと取り付けられていますか？ ● 羽根とガードが当たっていませんか？ | ● 羽根をしっかりと取り付けください。(P7参照) ● ガードをしっかりと取り付けください。(P7参照) |
| 風量が自動で下がっていく | ● おやすみ運転を設定しませんでしたか？ | ● 設定された風量から約20分ごとに自動的に風量を下げます。(P9参照) ● おやすみボタンを押して解除してください。(P8参照) |
| 自動で運転停止した | ● 切タイマーを設定しませんでしたか？ ● 入タイマーを設定しませんでしたか？ ● おやすみ運転を設定しませんでしたか？ | ● 切タイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。(P9参照) ● 入タイマーのみの設定をすると、自動的に運転が止まります。(P9参照) ● 入タイマーで運転を開始した場合、約2時間で運転を停止します。(P9参照) ● おやすみ運転で切タイマーを設定しない場合は、約10時間、または約2時間で運転停止します。(P9参照) |
| 首振りの向きが左右どちらかにかたよっている | ● 風向調節をしていませんか？ | ● 正面に直してください。正面を中心に左右に約20°調節できます。(P5参照) |
| LEDランプが暗くなり、操作音がしない | ● 減灯&消音を設定しませんでしたか？ | ● 減灯&消音ボタンを押して解除してください。(P9参照) |

仕様

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や、電源周波数の異なる海外では、使用できません。またアフターサービスもできません。

| 型 式 | HEF-130R(リモコン付きタイプ) | | HEF-130M(リモコン無しタイプ) | |
|---|---------------------------------------|-----|---------------------|-----|
| 定 格 電 圧 (V) | 100 | | | |
| 定 格 周 波 数 (Hz) | 50 | 60 | 50 | 60 |
| 定格消費電力(W) ^{※1} _{※2} | 40 | 43 | 38 | 41 |
| 最大風速(m/min) ^{※1} | 140 | 140 | 140 | 140 |
| 風 量 (m ³ /min) ^{※1} | 38 | 38 | 38 | 38 |
| 外 形 寸 法 (mm) | 幅371×奥行370×高さ735~950 | | | |
| 質 量 (kg) | 約3.9 | | 約3.9 | |
| コードの長さ(m) | 約1.7 | | | |
| 風 量 設 定 | 微・弱・中・強 | | | |
| 切入タイマー(時間) | 1・2・4・6 | | | |
| 首 振 り 角 度 | 上方向:約20°、下方向:約10°、左右方向:約45、70、90°調節可能 | | | |
| リ モ コ ン | あり | | なし | |

※1 風量が「強」のときの値です。 ※2 首振り運転のときの値です。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P15)にお問い合わせください。

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 保証書 | 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日から1年です。 | |
| 修理を依頼される ときは 持込修理 | 保証期間中は | 修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。 |
| | 保証期間が 過ぎているときは | 修理によって使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。 |
| 補修用性能部品の 保有期間 | 扇風機の補修用性能部品の製造打ち切り後8年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。 | |
| ご転居されるときは | ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。 | |
| 修理料金のしくみ | 修理料金=技術料+部品代などで構成されています。 | |
| | 技術料 | 診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。 |
| | 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。 |

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・
けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。
- **標準的な使用条件** 日本工業規格(JIS C9921-1)による

| | | |
|-------|------------|--------------------|
| 環境条件 | 電圧 | 単相交流100V |
| | 周波数 | 50Hz / 60Hz |
| | 温度 | 30℃ |
| | 湿度 | 65% |
| | 設置条件 | 標準設置(取扱説明書による) |
| 負荷条件 | | 定格負荷(風速)(取扱説明書による) |
| 想定時間等 | 1日あたりの使用時間 | 8(h / 日) |
| | 1日使用回数 | 5(回 / 日) |
| | 1年間の使用日数 | 110(日 / 年) |
| | スイッチ操作回数 | 550(回 / 年) |
| | 首振運転の割合 | 100(%) |

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-8802-28
携帯電話、PHSからもご利用できます。
FAX 0120-3121-34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

長期使用についてのご相談は日立長期使用製品安全表示制度窓口へ

TEL 0120-3121-11

携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は、休ませていただきます。

- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

愛情点検



長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

ご使用
中 止

このような症状のときは、
故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検・修理を
ご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)

日立扇風機保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

| | | | | | | |
|------|----------|-----------|---------|---|------|-------|
| 型式 | HEF-130R | リモコン付きタイプ | ※お買い上げ日 | | 保証期間 | |
| | HEF-130M | リモコン無しタイプ | 年 | 月 | 日 | 本体：1年 |
| ※お客様 | ご住所 | 〒 - | | | | 様 |
| | ご芳名 | | | | | |
| ※販売店 | 住所 | 〒 - | | | | TEL |
| | 店名 | | | | | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口(☎ 15 ページ)にご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎ 15 ページ)にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☎ 13 ページ)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)

電話 03-3502-2111